

資料 1

関係都県からの意見の状況

都県名	意見聴取案 について	追加要望について	
		追加要望市町村名	追加要望の主な理由
東京都	異存なし	なし	
神奈川県	異存なし	なし	
山梨県	異存なし	大泉村、小淵沢町 (2 町村)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 孤立化のおそれ ・ 近隣の市町村と連携した防災体制の確保
長野県	異存なし	長谷村、辰野町、箕輪町、南箕輪村 (4 町村)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 孤立化のおそれ ・ 近隣の市町村と連携した防災体制の確保
静岡県	異存なし	なし	
愛知県	異存なし	津島市、八開村、立田村、佐織町、佐屋町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、十四山村、飛島村、弥富町 (1 市 1 2 町村)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広大な軟弱地盤であり被害が発生しやすい。 ・ 過去にも地震動による被害が大きく、三河地域と同程度の被害となる想定もあることから (愛知県被害想定)、地域において指定要望が強い。 ・ 海拔ゼロメートル地帯で、人工排水を実施している地域であり、浸水被害につながる恐れが強く、逃げ場もないことから、警戒宣言に基づき事前に必要な避難等の対応をとる必要がある。 ・ 1 市 1 2 町村は連携して防災体制をとる必要性が高い。
岐阜県	異存なし	なし	
三重県	異存なし	鳥羽市、伊勢市、尾鷲市、熊野市、二見町、御園村、磯部町、浜島町、南勢町、南島町、紀勢町、紀伊長島町、海山町 (以上、津波) 木曾岬町、長島町 (以上、ゼロメートル地帯) (4 市 1 1 町村)	<ul style="list-style-type: none"> ・ リアス式海岸を有し、過去にも多くの津波被害を受けてきた地域であり、強化地域案の 3 町と同程度の津波被害のおそれがある。地形が急峻、災害弱者が多いこと等により迅速な避難が困難であり、警戒宣言に基づき事前の避難体制を確立する必要がある。 ・ 近隣の市町村と連携して防災体制を確保する必要がある。 ・ 隣接する愛知県海部郡と同様、軟弱地盤のゼロメートル地帯で、浸水の可能性が強く孤立化のおそれもある。

関係係都県知事からの意見の状況（市町村一覧）

東京都	<u>新島村、神津島村、三宅村</u>
神奈川県	平塚市、小田原市、茅ヶ崎市、秦野市、厚木市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町
山梨県	甲府市、富士吉田市、塩山市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、春日居町、牧丘町、勝沼町、大和村、石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、中道町、芦川村、豊富村、上九一色村、三珠町、市川大門町、六郷町、下部町、増穂町、鯉沢町、中富町、早川町、身延町、南部町、富沢町、竜王町、敷島町、玉穂町、昭和町、田富町、八田村、白根町、芦安村、若草町、櫛形町、甲西町、双葉町、明野村、白州町、武川村、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、河口湖町、勝山村、足和田村、鳴沢村、上野原町、秋山村、 <u>須玉町、高根町、長坂町、大泉村、小淵沢町</u>
長野県	飯田市、伊那市、駒ヶ根市、飯島町、中川村、宮田村、松川町、高森町、阿南町、阿智村、下条村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、南信濃村、 <u>岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村、高遠町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、長谷村、大鹿村、上村</u>
岐阜県	中津川市
静岡県	静岡市、浜松市、沼津市、清水市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、天竜市、浜北市、下田市、裾野市、湖西市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、賀茂村、伊豆長岡町、修善寺町、戸田村、土肥町、函南町、韮山町、大仁町、天城湯ヶ島町、中伊豆町、清水町、長泉町、小山町、芝川町、富士川町、蒲原町、由比町、岡部町、大井川町、御前崎町、相良町、榛原町、吉田町、金谷町、川根町、中川根町、本川根町、大須賀町、浜岡町、小笠町、菊川町、大東町、森町、春野町、浅羽町、福田町、竜洋町、豊田町、豊岡村、龍山村、佐久間町、水窪町、舞阪町、新居町、雄踏町、細江町、引佐町、三ヶ日町
愛知県	<u>名古屋市、豊橋市、岡崎市、半田市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲都市、常滑市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、高浜市、豊明市、日進市、東郷町、長久手町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、十四山村、飛島村、弥富町、佐屋町、立田村、八開村、佐織町、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、一色町、吉良町、幡豆町、幸田町、額田町、三好町、設楽町、東栄町、津具村、鳳来町、作手村、音羽町、一宮町、小坂井町、御津町、田原町、赤羽根町、渥美町</u>
三重県	伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、長島町、木曾岬町、二見町、南勢町、南島町、 <u>紀勢町、御園村、浜島町、大王町、志摩町、阿児町、磯部町、紀伊長島町、海山町</u>

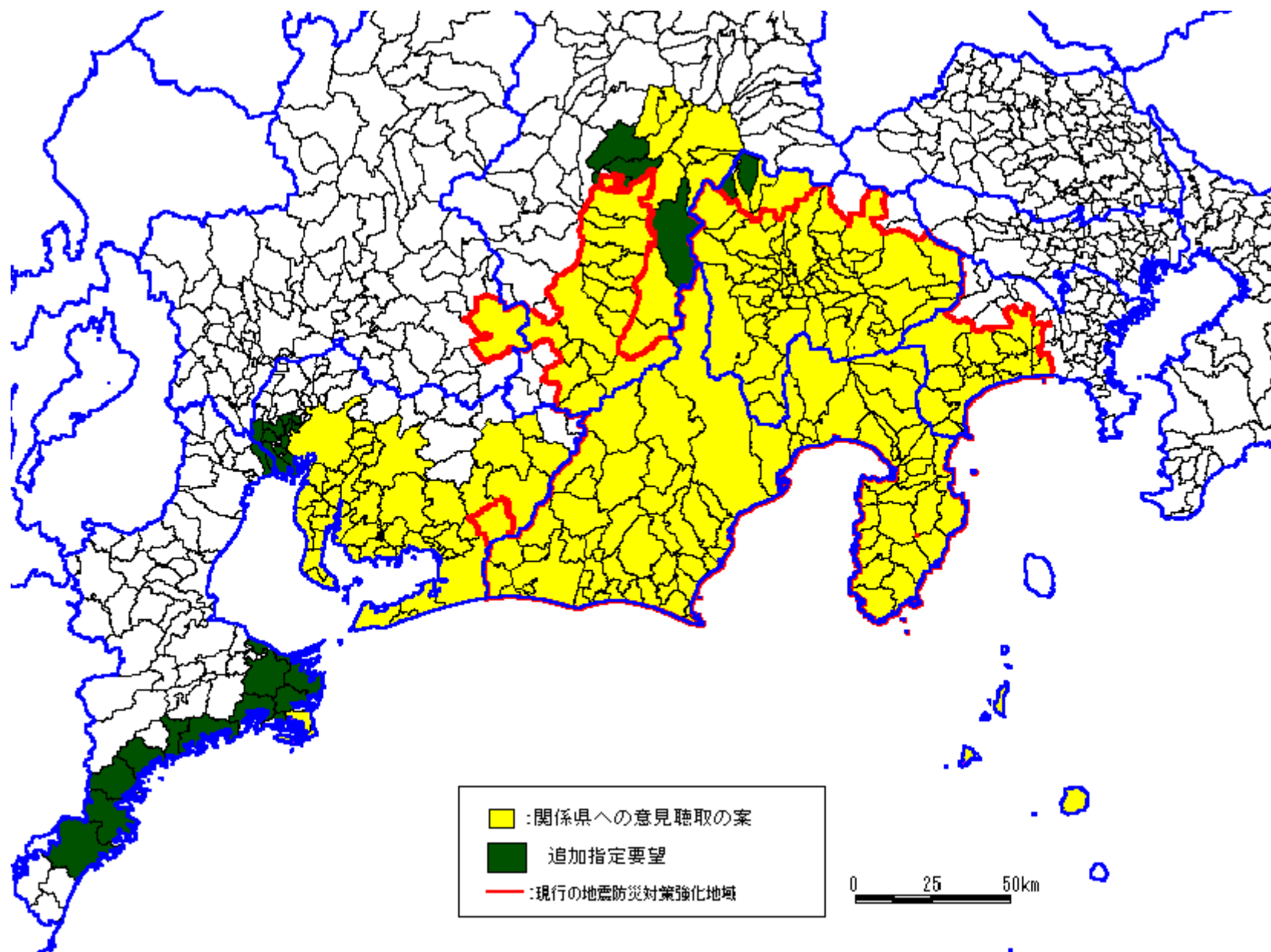
下線のない市町村は、現在の地震防災対策強化地域 167 市町村。

2 線は、関係都県知事への意見聴取案で追加した 62 市町村。

3 線は、4 県より追加要望のあった 34 市町村。

計 263 市町村

地震防災対策強化地域（案）についての関係都県の意見



資料4

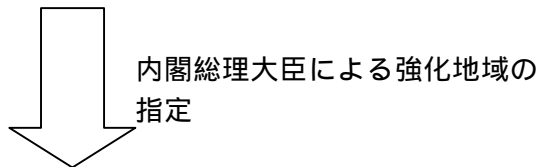
追加要望のあった地域についての考え方

追加要望地域	地方公共団体からの詳細な現地の状況をみた意見を踏まえた考え方
<p>山梨県 大泉村、小淵沢町 (2町村)</p> <p>長野県 辰野町、箕輪町、南箕輪村、長谷村 (4町村)</p>	<p>山梨県、長野県の6町村については、隣接する強化地域となる地域と密接な連携によって地域が成り立っており(山梨県の2町村は韮崎市等と、長野県の4町村は伊那市等と密接な関係)、防災体制も含め近隣地域と一体的な対応を行っている。</p> <p>このような地域の実情を踏まえると、近隣自治体と同様に強化地域に指定しない場合、警戒宣言時等に交通途絶や孤立等の課題が生じ、防災対策上問題となると考えられる。</p>
<p>愛知県 津島市、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、十四山村、飛鳥村、弥富町、佐屋町、立田村、八開村、佐織町 (1市12町村)</p> <p>三重県 長島町、木曾岬町 (2町)</p>	<p>当該地域は、震度6弱に準じた地震動のおそれがありかつ非常に軟弱な地盤である。また、ゼロメートル地帯であり、人工排水を行っている地域であることから、地震により当該地域は広い範囲で浸水するおそれがあり、避難が困難になる可能性もある。</p> <p>このようなことから、東海地震の際に著しい被害のおそれがあり、警戒宣言に基づく避難・警戒体制を取る必要があり、強化地域として指定すべきではないかと考えられる。</p>
<p>三重県 伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、二見町、南勢町、南島町、紀勢町、御園村、浜島町、磯部町、紀伊長島町、海山町 (4市9町村)</p>	<p>これらの熊野灘沿岸の市町村は、リアス式海岸を有し、過去にも多くの津波被害を被ってきた地域である。第1回の専門調査会では、津波の到達時間が20分以上である地域は一般的に避難する余裕があると考えられるが、それぞれの地域に即した状況を地方公共団体からも伺って決定することとした。</p> <p>地元地方公共団体より、地形が急峻であり高齢者のみの家庭が多いことから、地震後の迅速な避難が困難であるため、警戒宣言に基づく避難・警戒体制を取る必要があるとの意見が出されている。</p> <p>このような地域の実情を踏まえると、強化地域として指定すべきではないかと考えられる。</p>

地震防災対策強化地域指定等に関する今後の流れ

4月9日 (本日)	<ul style="list-style-type: none">・東海地震対策専門調査会において、関係都県知事の意見も踏まえ、地震防災対策強化地域案を検討し、専門調査会としての試案をとりまとめ
--------------	--

4月下旬	【中央防災会議開催】 <ul style="list-style-type: none">・専門調査会における検討結果の報告・強化地域に関する調査審議（強化地域案が確定）・内閣総理大臣への答申
------	---



4月中	<ul style="list-style-type: none">・内閣総理大臣による強化地域指定の公示
-----	---

強化地域指定に係る一連の検討等の終了

5月以降、東海地震対策専門調査会において、東海地震対策全般について検討する予定。